

残食調査アンケートの質問項目と集計方法について

◆献立例

献立	栗ご飯	味噌汁	さんまの塩焼き	煮物	デザート
材料	ご飯 栗	小松菜 豆腐 わかめ	さんま 大根	里芋 人参 ごぼう 鶏肉 絹さや	柿

◆残食の例

- ・栗ご飯（量が多かったから／ご飯がやわらかすぎたから）
- ・煮物（人参が嫌いだから）
- ・さんま（骨が苦手だから）

◆質問パターンA

(1) 残したものは何ですか

- ①栗ご飯 ②味噌汁 ③さんまの塩焼き ④煮物 ⑤柿

(2) 残した理由は何ですか

- ①食欲がなかった ②嫌いな食べ物だった ③調理法に問題があった
 ④量が多かった ⑤盛り付けが悪かった ⑥時間がなかった
 ⑦最近同じものを食べた ⑧食品アレルギーがある ⑨おかずが冷めていた
 ⑩その他 { 魚の骨が苦手なので }

(問題点) ・複数の食材を残した場合に、理由を分析することが困難
 ・理由がたくさんあって探しにくい。並びが不規則で答えにくい。

◆質問パターンB（改善版）

(1) 栗ご飯について

- 残しましたか ①はい ②いいえ
 残した理由は何ですか
 ①量が多かった ②ご飯がかたすぎた ③ご飯がやわらかすぎた
 ④その他 { }

(2) 味噌汁について

- 残しましたか ①はい ②いいえ
 残した理由は何ですか . . .

(3) さんまの塩焼きについて

- 残しましたか ①はい ②いいえ
 残した理由は何ですか . . .

◆アンケートの形式（望ましいスタイル）

（質問の形式や体裁）

- 献立1つ1つに、具体的な質問を用意する
- 選択肢がわかりやすいこと、選択肢が多すぎないこと
（提供者側の問題か、喫食者側の問題か、区別されているとわかりやすい）

（利用しやすい）

- 記入しやすいこと
- 集計しやすいこと

（回答者の負担が増えない範囲で質問を追加してもよい）

- 追加してほしいメニューはあるか
- 食堂環境などに関する意見・要望
- 残食に対する考え方の質問

（その他）

- イラストや写真などを入れて親しみやすい体裁を工夫する
- 説明文、お願い文、お礼などを丁寧な表現で書く

◆集計・分析方法について

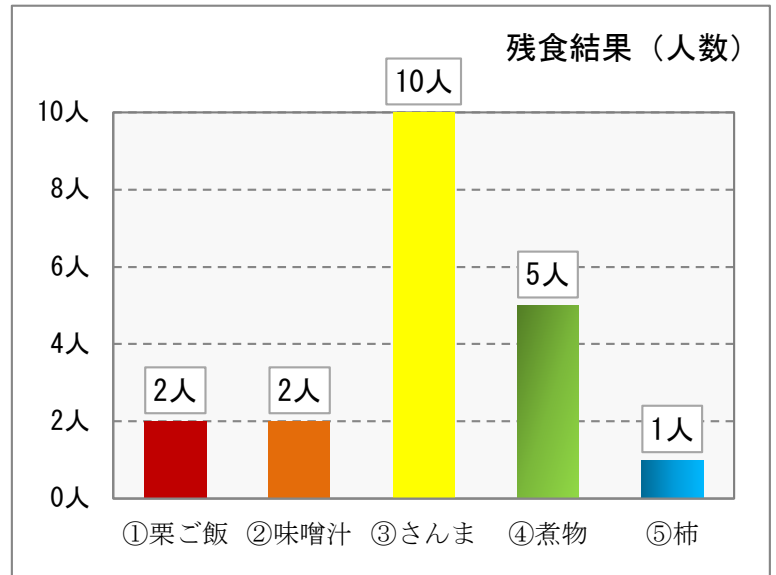
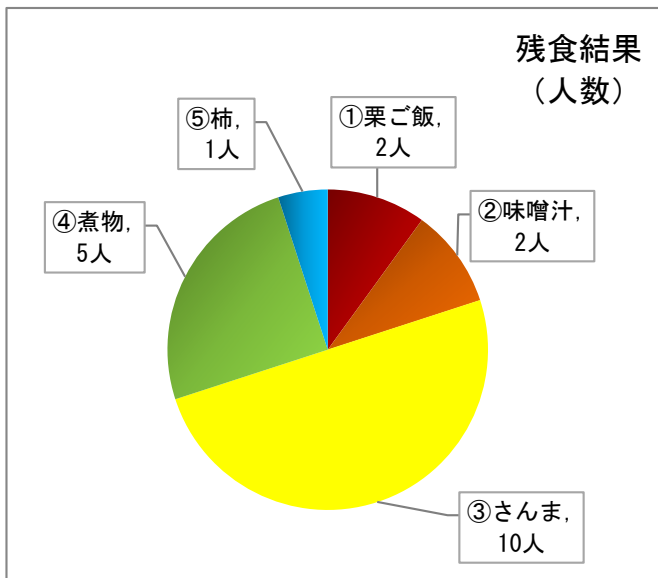
【質問例1】残したものは何ですか。

(回答例) 回答者10名 (複数回答)

①栗ご飯	2
②味噌汁	2
③さんまの塩焼き	10
④煮物	5
⑤柿	1
回答数	20

望ましいのは円グラフ／棒グラフのどちらか？

- A. 円グラフが望ましい
- B. 棒グラフが望ましい
- C. どちらのグラフでも特に問題はない



【質問例2】給食は残さず食べていますか。

(回答例) 回答者10名

①いつも残さず食べる	4
②たまに残すことがある	3
③わりとよく残す	1
④毎回残してしまう	2
回答数	10

望ましいのは円グラフ／棒グラフのどちらか？

- A. 円グラフが望ましい
- B. 棒グラフが望ましい
- C. どちらのグラフでも特に問題はない

